



秋田みなとまちづくり講演会

秋田の元気は港から　～ハートが通うみなとまちづくりをめざして～





秋田港は、江戸時代には日本海を航行する北前船が寄港し交易が盛んに行われ、人々の交流の拠点となり、そこで商売が営まれ、いわゆる「みなとまち」として発展してきました。

その後、船舶の大型化に対応するための沖合展開、大規模な臨海部の土地造成などにより、一時的に「みなと」は地域の人々の生活から遠い存在になるとともに、かつて活況を呈していた「みなとまち」の賑わいや活気が失われつつありました。

しかし近年、秋田港では定期コンテナ航路やフェリー航路の開設、秋田マリーナやポートタワーセリオン（港湾文化交流施設）などの供用により、人や物の交流を育む総合的な利用がなされる港に変化しています。

これからの「みなとまちづくり」は、ハード整備のみならず、地域住民が主体となって取り組もうとするハート（意識）が重要となってきます。

そこで、本講演会では、「みなと」の資産を活用した「みなとまちづくり」の推進について考えようとするものです。

●日　時　　平成18年7月29日(土)　　13:30～16:20　【開場13:00】
●会　場　　秋田港振興センター　セリオンプラザ　　多目的ホール

主催：国土交通省　東北地方整備局　秋田港湾事務所
共催：（社）秋田県貿易促進協会、秋田港振興会、秋田みなと振興会
後援：秋田県・秋田市・秋田県商工会議所連合会・秋田魁新報社・ＮＨＫ秋田放送局・
ＡＫＴ秋田テレビ・ＡＢＳ秋田放送・ＡＡＢ秋田朝日放送・エフエム秋田